令和7年度学校評価自己評価 【中間】

神杉小学校

学校教育目標 「確かな学力と豊かな人間性をもち 自ら伸びる子どもの育成」

自ら学ぶ

認め合う

元気

達成値 A ≧ I 0 0 達成度 評価 $\times 100$ I 0 0 > B ≥ 8 0 目標値

A 適切である 80>C≥60

60>D

B 概ね適切である

C あまり適切でない D 適切でない

	中期経営目標			評価			学校運営協議会 評価	
	【担当部】	具体的な取組・方策	評価指標	状況	中間評価を達成状況	改善策	(評価)	
知確かな学力	の考えを高	・「やるゾウタイム」の徹底やタブレットドリル等を効果的に活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。 ・ICTを効果的に活用した授業づくりを深化させる。	①三次市学力到達度検査において、(全国平均+7点以上)を60%以上にする。 ②単元末テスト(国語・算数)80点以上の児童の割合を70%以上にする。	A	① 三次市学力到達度検査:未実施(R8 I 月)② 単元末テスト 80 点以上の児童の割合:79.5%(国語:78.4% 算数:80.68%)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	AAA	・・ヤタブレー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		・研究主題に迫る単元開発を図る。 ・達成された姿の明確化及び共有を 図り、取組を行う。	・各教科等との関連を図り、各学年 単元の単元開発を行う。・年間 2 回の児童意識調査を行い、「主体性・表現力・協働性」の肯定的評価を 3 p以上にする。	_	2回目のアンケートは2月に実施 【I回目(6月実施)の肯定的評価数値】 主体性45.2%、協働性43.5%、表現力43.9%	教育センター指導主事と連携をし、研究を 進めている。引き続き、地域の人々の暮ら し、伝統と文化など、神杉地域の特色に応 じた課題を学年ごとに設定し、単元開発を 行っていく。また『探求サイクルシート』を 活用し、探求の過程に沿った学習活動が できるよう取り組んでいく。		
		・読書活動を充実させ、読書に親し む機会を多く設け、読書量を増や す。	・「本を読むことは楽しい」児童の割合 を 80%以上にする。	A	読書に対して肯定的な評価(「読むことはとても楽しい」「読むことは楽しい」)は 84%	・9 月末現在貸し出し冊数は 1000 冊を 超えたが、半数以上が 1 年生である。他学 年の貸し出し冊数が増えるよう、ブックトー クや本の紹介などを行っていく。		
徳豊かな心	かれりきるされて動する	・自己選択・自己決定の場を設定し、 児童に様々な場面でチャレンジす る経験をさせる。 ・協働することの大切さを実感する ため、児童会や縦割り班活動の充 実を図る。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ① 学習・特別活動等において、自己選択・自己決定を進んで行った。80%以上 ② 友だちと(他学年の人)協働して縦割り班活動に取り組んだ80%以上	A	①「4月に比べて,自分で選んで活動したり学習したりすることが増えていると思いますか」 肯定評価 91.6% ②「ふれあい班の活動は,ほかの学年の人と協力していますか」 肯定評価 92.7%	・学習や活動場面において,自己選択・自己決定する場面を意図的に設定していく取組を継続していく。 ・活動後に自己評価させていく。 ・掃除以外の縦割り班活動を児童に企画させていく(ふれあい班遊び等) ・掃除活動の評価を日常的に行う。	AAB	・登下校時、来客時にあいさつができておりいいと思う。 ・先生との関係、友だちや地域の人との関わりなど、交わりについてしっかりと取り組まれていると思うが、その気持ちを表現することが大切と思う。 ・スマイルカードの活用頻度が高まれば良いと思われる。 ・挨拶について、通学時は少しさみしさを感じる。
		・スマイルカードの取組を充実させ、 人 人の良いところを認め合う 活動を充実させる。 ・自分から進んであいさつができる ようにする。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ①スマイルカードに友だちのよいところを見つけて書いた。 ②登校時や来客の方に対し、 <mark>自分から</mark> 進んであいさつができる。80%以上	В	①「友達やほかの学年の友達の良いところをみつけたり. 感謝の気持ちを伝えたりするために,スマイルカードに書くことができましたか」 肯定評価 59.4% ②「学校の行き帰りに出会った人や,学校に来られたお客様に自分からあいさつができましたか」 肯定評価 92.7%	・行事と関連付けて書く視点を明確にした り書かれたカードの掲示を工夫したりし て、取組を日常的に意識させる。 ・児童会執行部を中心に、塩町中学校区 の他の小学校とあいさつの取組を交流 し、次の具体的提案につなげていく。		
体 たくましい	体力の向上と 生活習慣の改 善を図る。	・運動朝会の内容や方法を工夫し、楽しんで基礎体力を向上できるようにする。	・体づくりに関するアンケートの肯定 的評価 80%以上にする。	A	「体を動かして運動することは好きですか」 肯定的評価 83.4%	・体育の授業の工夫や健康委員会企画 の運動朝会の継続,休憩時間の外遊 びを奨励する。	AAA	・生活リズムチェック時は規則正しい生活習慣ができている。それが定着、維持できればいいと思う。 ・今の時代においては、より一層生活のリズムの確立に取り組む必要があると思う。
		・「お弁当の日」の取組を工夫し継続する。・自分の生活をコントロールする力を育てる。	・生活リズムチェックで、 <mark>目標を達成</mark> できる児童の割合を 70%以上にす る。(高学年)	A	メディアのルール目標達成率 70.8%(高学年)	・規則正しい生活習慣(早寝)の奨励, 上手なメディアの付き合い方につい ての啓発を行う。		
事 カ オ ガ 学 材	はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・学校HPや各種通信などで積極的に情報発信を行うとともに、保護者との連携を主体的に進める。 ・学校の相談機能を充実する。 (迅速で誠実な組織的対応) ・業務改善をさらに進める。	①保護者の肯定的評価[3·4]を 90%以上とする。 ②職員の超過勤務月 45 時間以内を 100%にする。	A	① 年を通して、HPで日々の児童の様子を毎日発信できた。各種通信においては、地域・保護者と協働して神杉の子を育てるという視点、児童の主体的な姿を画像で紹介していくことに重点をおいて発行した。 ①生徒指導事案や児童・保護者からの相談に対しては、担任だけでなく、組織で共有し対応に努めた。【保護者アンケート「学校の様子がわかる」肯定的評価 100%「教職員への相談のしやすさ」93%】 ②教育の充実に向け、衛生委員会等を定期的に実施し教職員の健康状態等について共有し、職場環境や働き方改革につながる業務改善について検討した。退庁時間を意識するなど職員のタイムマネジメント力も向上している。【超過勤務月45時間以内 100% 平均19時間】	・今後も積極的な情報発信に努める。 ・児童・保護者の思いをしっかりと受け 止めることを今後も大切にし、 で丁寧な組織的対応を行っていく。 また、問題の未然防止や早期発見・早 期対応のために、外部連携を密にす る、職員研修の実施も行っていく。 ・限られた時間を教師の専門性を高め たり、授業改善や児童に接する時間 を確保したりするものとなるよう、 組織力を高める。	AAA	・小学校HPにて毎日ニュースが配信され 児童の様子がわかり安心する。 ・地域人材を活用した学習活動で地域の ことをくわしく学習できていていいと思う。 ・保護者の肯定的評価が高い。 ・職員の残業時間の目標が達成。 ・地域と共に活動はまずまずできている と思われる。 ・保護者アンケート 56/92 の提出とのことであるが、提出率は低いのでは。 ・保護者が学校任せになっている傾向は ありませんか?しっかり先生と保護者、
		・コミュニティ・スクールとして、 小中・地域がさらに連携した取 組を進める。	①「子どもの学び応援団」の取組を年間 10 回以上。 ②地域人材を活用した学習活動を各学年:年間3回以上。	未	・地域・保護者とともにある学校づくりという体制が整ってきている。CS の活用が教育の質の向上につながっている。 【9月末 応援団の取組6回 参加数 15 人】	・地域・保護者と目標の共通認識を図 り、児童の教育活動の充実のために、 今後も地域人材の活用を計画的に図 っていく。 ・応援団お知らせを作成し呼びかける。		学校と地域がより関わり合い言葉を交わ し合う機会を増やしましょう。